



第126回触媒化学研究センター談話会

演 題：新奇的な構造や電子状態をもつイリジウムおよびルテニウム複核錯体

講演者：海老原 昌弘 氏

岐阜大学工学部応用化学科 助教授

日 時：2002年7月25日（木）
15:30 - 17:00

場 所：理学研究科 2号館409号室

要 旨：近年，金属錯体を集積化させ新たな機能を持たせようとする研究が国内外を問わず盛んになっている．その中で，金属原子間に結合をもつランタン型複核錯体を基本単位として集積型金属錯体を構築していく研究は，フロンティアオービタルエンジニアリングの方向性から興味を持たれる系である．これらの研究を進めていく上では既知の錯体の組み合わせを考えるだけでなく，新しい立体構造や電子構造をもつ錯体を合成していくことも重要である．5d金属の錯体は4d金属に比べ合成例が少ないが，5d軌道の広がりを考えると金属原子間，金属-配位子間の相互作用が大きくなることが期待される．このような観点から我々が行っている新奇イリジウム複核錯体の合成と，珍しい電子構造をもつルテニウム複核錯体について講演する．

《連絡先》 北大触媒化学研究センター 分子集合体化学分野
辻 康之 (011-706-2914 · tsuji@cat.hokudai.ac.jp)